

Information

～富山県立大学研究協力会 発足3周年記念行事～

「産学連携と地域イノベーション」をテーマに開催いたします。
会員の皆様のご参加をお願いいたします。（詳細は別途ご案内）

- ◆日時 平成19年 10月3日【水】13:00～
- ◆場所 富山国際会議場、富山全日空ホテル（懇親パーティー）

◆内容（予定）

- ①パネル展示
- ②産学連携に関する事例発表会
- ③記念講演

「人間型ロボットの進化（仮題）」
東京大学 情報理工学系研究科教授 稲葉雅幸
(富山県出身)

- ④記念式典
- ⑤懇親パーティー（17:30～）

これからの皆様と共に。



「ダ・ヴィンチ祭」

富山県立大学では、毎年好評を頂いている、子供達への科学への関心を高めるための科学イベント「ダ・ヴィンチ祭」を本年も開催いたします。皆様のご参加・ご支援をお願いいたします。

- ◆日時 平成19年8月4日（土）10:00～15:30
- ◆場所 富山県立大学内
- ◆内容 おもしろ科学緑日、製作教室 大学体験隊 等
- ◆主催 富山県立大学、射水市教育委員会、富山テレビ放送



「イブニングセミナー」

富山県立大学では、企業の若手技術者を対象としたセミナーを開催しております。皆様のご参加をお待ちしております。

- ◆日時 平成19年6月6日～7月4日の毎水曜日 18:00～20:00 計5回
- ◆場所 富山県立大学 生物工学研究センター
- ◆テーマ 「化合物の分離・分析や構造決定法 入門」
- ◆対象者 機器分析について学びたい技術者
- ◆受講料 10,000円/5回
※研究協力会会員企業の方には、5,000円の受講補助があります。



編集・発行 | 富山県立大学研究協力会事務局（富山県立大学地域連携センター内）

〒939-0398 富山県射水市黒河5180 TEL:0766-56-0604 FAX:0766-56-0391
E-mail tpu-liaison@pu-toyama.ac.jp HP http://www.pu-toyama.ac.jp/kyouryokukai/

富山県立大学研究協力会 会報

テクノタイムス
Techno Times

2007.6
No.004

大学をどう 変えていくのか

一対談者一

富山県立大学 研究協力会 会長 中尾 哲雄
富山県立大学 学長 田中 正人



◆サービスモデルの構築◆

中尾

この度は学長就任おめでとうございませぬ。まずは今後の大学運営に向けての抱負をお聞かせ下さい。

田中

富山県立大学は、この17年間で3代の学長先生が色々尽力され、大学としての基礎がきちんと出来上がったところだ。研究協力会も設立して3年が経過して、この地域の中ではかなりハッピーな状況にあると思っています。

ただ、気をつけなければいけないのは学問や技術というのは狭い富山県の中で閉じられるものでなく、必ず外と繋がっているということです。

例えば県下の色々な製品・技術もアメリカや中国、ヨーロッパと勝負しなければなりません。大学として、またご支援頂く企業の方々にも、多少荒波を受けるかもしれませんが、県内という限られたフィールドに拘ることなく、大海に乗り出すチャレンジ精神を持ってもらいたいと考えています。

中尾

学問は当然ですが、研究対象の技術も企業の固有技術も外と、海外とも繋がっています。我々も努力していかねばなりません。大学の先生にも外からの技術知識を取り入れて頂き、それによって企

業もハッピーになる。と同時に発信もして頂く、ということでしょうね。

田中

それと以前中尾会長から指摘を頂いたことですが、これからの時代と付き合っていくためには、「県立大学はこんなにも良い大学なんだ」ということを、ターゲットを絞って積極的にPRすべきですが、これまでは情報発信が不足していたような気がします。

中尾

富山県人は、でしゃばらないことを美德としてきました。自信が過信になり慢心になってはいけません。これからは誇りを持って堂々と発信していかねばなりません。

田中

学長に就任し、現在学内で「サービスモデルの総点検」をお願いしています。我々は、学生そして地域企業に対して、研究なり、教育なりのサービスを提供するというミッションがあります。そのミッションの具体的な内容、手法を定めた「サービスモデル」があるはずだ。

例えば「県立大学に入学するとどういふことを学ぶことが出来、卒業するとどこに就職出来るのだろうか」

という高校生の方たちからの目線で、本当に情報を的確に漏れなく与えているかという点、断片的には与えていても、統一的にはなっていないような気がします。

これからは「大学が選ばれる」時代です。その時には必ずサービスモデルのクオリティが勝負になります。そういう観点で、今まで取り組んできた研究や講義といったものを見つめ直し、サービスモデルを構築していきたいと思っています。

中尾

企業も全く同じです。今は、学生に企業を選んでもらうということでしょうか。そのため、企業は学生に向かって詳しく企業の内容を知らせる努力をしています。その意味で県立大学はまだ、諸先生の研究内容等大学の様子がよく見えないという印象はあります。

田中

そうですね。そういったことを統一的に、定期的に実施するのが大学としての説明責任だと思っています。ぜひ、積極的に情報発信をしていきます。

※2,3面に続く→